

## 令和6年度 第1回 大久保東小学校運営協議会 議事録

日時 令和6年6月10日(金) 10:00～11:30  
場所 さいたま市立大久保東小学校 会議室(南校舎2階)  
参加者 大久保東小学校PTA会長 渡部 秀之(会長)  
おやじの会会長 山崎 栄慈(副会長)  
上大久保中学校長 高久 正行  
図書ボランティア代表 唐澤 厚美  
チャレンジスクール実行委員長 高田 稔  
民生委員・児童委員 片山 加代子  
大久保地区民生委員・児童委員 遠藤 功  
大久保領家西自治会長 飯田 一恵  
大久保東公民館館長 南 崇子  
大久保東児童センター館長 小室 美香(欠席)  
校長 目黒 良作  
教頭 佐藤 信孝  
教務主任 和久井 剛志  
学校地域連携コーディネーター 安藤 盛光

### ○ 委嘱状交付・自己紹介・会長・副会長の指名

#### 1 開会【教頭 佐藤 信孝】

#### 2 挨拶

学校運営協議会会長 渡部 秀之 様  
本校校長 目黒 良作

#### 3 令和6年度学校運営について

学校長より

①学校教育目標・目指す児童像・目指す学校像

②学校経営方針

学力向上の観点・安心、安全の視点、地域とともにある学校づくりの観点、教職員の資質向上の  
観点

③教育課程について

学校行事

教職員の配置(人事)、高学年での専科制と日本語指導教員の配置

#### ④学校予算について

多くの金額が学校に配当されている。子どものためにお金が適切に使われている状態

#### ⑤学校保健関係について

健康診断が6月でほぼ終わる予定。

課題：むし歯の治療率・・・むし歯の子どもが多い。治療をしてもらえるように促していきたい。

市平均77%に対して72.5%。少しでも治療率を上げたい

子どもの性についての理解を深める活動の実施

けがの発生について課題、防げるけがを防げるように教職員の指導・子どもの意識向上を図りたい。

保健室の役割：教室になかなか入れない子どもにとってのワンクッションとしての立場。担任一人では賄いきれないところで子どもたちの心のケア

#### 【質疑応答から】

Q:プールについて、例年通り実施する予定なのか。

⇒昨年度は各学年2時間程度のみだった。去年・今年でプール内の壁面の補修を行い、プールの学習を10時間程度実施する予定。来週（6月17日ごろ）からスタート予定。

Q:50周年記念行事についてどんな計画なのか。

⇒PTA 主催10月の26日に東っこフェスティバルを実施予定50周年記念で実施。周辺地域も参加可能。26日の午後。体育館に地域のお店の出店（マルシェのようなものやフリマ、ワークショップのようなもの）、ステージではチアリーディング部の活動や芸能人の招待。校庭では野球やサッカークラブの活動が予定されている。

花火大会を計画・調整中。9月もしくは11月の予定。周辺への周知徹底を図る。

記念誌の発行を計画中。

Q:学校の不登校実態について、また地域の特性上家庭環境が複雑な子どもの実態はどのような状態か

⇒非公開

Q:給食費の公会計について、現在の徴収率はどのような状態か。

⇒今年度からの取り組みで7月に1回目の回収を行う。そのため、現状ではわからない。

#### 4 【熟議】

○ 小・中が連携して子どもを卒業させることが大切。夏休みに小・中合同研修会を実施計画。

新しいことを多くなっている（ICT活用の授業）

危惧していることは生徒指導の内容（法令に触れる犯罪行為、SNS等のトラブル・・・児童ポルノ問題）地域の小・中学校をみんなで支えていこうということが大事。また、地域に子どもたちを貢献させたい。

○ 家庭で栄養を十分に摂れていない子どもがいるかもしれない。徴収率によって今後の給食の食材が変わるのではないか。その点で、給食はバランスよく栄養を摂れるため、今後の給食に影響が出ないか心配だ。

○ 図書ボランティアでは、今のスタッフから次世代に活動を引き継ぐとき、積み重ねてきた教育活動が引き継がれるように体制づくりを整えていきたい。子どもが本に親しむ取り組みを図書館司書

と協力して取り組んでいる。現在は読んだ冊数でキャラクターの衣装を変えられるようする取り組みを行っている。

- 子どもの視力の低下が気になっている。授業を参観してもタブレットと子どもの目の距離が近い。自分の経験上、視力が低下したことで学力にも影響が出た。姿勢をよくすることでタブレットと目の距離を十分とれると思うので、学校でも学習の際には姿勢をよくするように指導してほしい。低学年は自然から感じたり、学んだりすることが多い。自然と共存する、自然とかかわりを持ってほしいので自然から学ぶ機会を設けられるとよい。
- 給食費の支払いについて。7月の徴収の際に未払いが発生した場合、どのような処理があるのだろうか。事務的な処理が増えてしまうのではないだろうか。心配だ。徴収金額が少なくなることで食材の量や品数の減少につながらないようにしたい。調理の工夫も必要だ。
- 地域行事への子どもの参加を促したい。中学生がメインとなると思います。若い世代が地域の行事に参加するようにしていきたい。
- 地域とのつながりという視点で、民生委員だけでなく、地域みんなのあいさつ、声掛け、公園等での見守り活動など、子どもを気にかけて見守っている体制が地域にある。
- 夏祭りを今年は再開する。7月13日（土）、参加してもらいたい。
- 学校と地域とのつながりという点で、学校だよりは学校の取り組みを知ってもらうために効果的だ。また、地域ゆかりの方、例えばホンダ先生は、学校の像をはじめいくつか公園等で飾られている。そのようなことも広めていきたい。
- 子どもの幸せをテーマにした学校経営だ。公民館、図書館など地域の公共施設との連携を図り協力していきたい。

## 5 いじめ対策委員会

○生徒指導より学校の現状についての報告

- ・いじめの実態や生徒指導の具体例
- ・長欠児童の実態報告
- ・6月はいじめ撲滅月間。ポスターの作成や個人面談、児童会の取り組み紹介。
- ・クラス単位では「今日のスターさん紹介」など互いに認め合う取り組み。
- ・校長先生講話の予定などいじめ撲滅に向けて取り組んでいるところ。

○生活目標について

- ・生活目標朝会等を利用して、目標内容の大切さや達成に向けての動機づけを行っている。
- ・みんなのきまりをもとにした、指導
- ・生徒指導推進委員会の実施で情報の共有と学年への周知徹底

○教育委員会からはいじめなしの状態ではなく、「いじめ見逃しなし」となるように観察してほしいと指導を受けている。

## 6 その他の内容について

- ・50周年記念事業の内容について
- ・12月4日10:00から、第2回を実施予定

7 閉会【教頭 佐藤 信孝】